

10月5日(日) 10:00~11:30 赤羽文化センター第2学習室 A・B において、10月例会・手話学習会を開催しました。講師は手話通訳士の五十嵐郁子氏で、会員25名、見学者1名(11月から入会)、合わせて26名の方にご参加いただきました。

### ★今回の学習内容★

相手に通じるように表現しましょう！

#### ポイント

表現してもしなくても通じる時は、その言葉を省いてもよい。



#### 例文1

10月は「食品ロス削減月間」です。まだ食べられるのに捨てられてしまう食品の事を「食品ロス」と言います。

#### 例文2

日本の食品ロスの量は年間464万トンです。1人当たり、おにぎり1個分の食品を毎日捨てていることになります。



#### 例文3

冷蔵庫を整理整頓して、食材などの使い忘れを防ぎ冷凍するなど、食品を上手に保存しましょう。

#### 例文4

余った料理をアレンジして、上手に食べ切りましょう。それでも余った時は「フードドライブ」に寄付をし、活用してもらいましょう。



### コミ男とモア子のしゅわ談義



コミ男：今回は「食品ロス」「フードドライブ」「3R」などの手話表現を教えてもらいました。

モア子：10月は「食品ロス削減月間」ということも知りました。食品が捨てられる一方で、飢餓に苦しむ人もたくさんいますね。

コミ男：ガザではイスラエルが支援物資の搬入を制限するなど、人為的な飢餓が深刻化しています。今日のよう  
な学習をきっかけに、一人ひとりが食品ロス削減に取り組んでいきたいね。

モア子：はい。手話表現の学習だけでなくいろいろ考えさせられる内容で、たくさん勉強することができました。